

第 一 次 選 定 会 議 記 録

|         |                                                                                                                                                                                                                   |                                                                                                                    |
|---------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 会 議 名 称 |                                                                                                                                                                                                                   | 杉並区魅力発信事業業務受託者候補者選定会議（第1回）                                                                                         |
| 日 時     |                                                                                                                                                                                                                   | 令和7年4月17日（木）15時00分から16時00分まで                                                                                       |
| 場 所     |                                                                                                                                                                                                                   | 杉並区産業振興センター 2階 会議室                                                                                                 |
| 出席者     | 委員名                                                                                                                                                                                                               | 杉並区産業振興センター所長： 齊藤 俊朗<br>杉並区総務部広報課長： 宮崎 敬司<br>区民生活部文化・交流課長： 渡邊 淳之介<br>都市整備部都市企画担当課長： 中谷 友哉<br>都市整備部鉄道立体担当課長： 塚田 千賀子 |
|         | 事務局職員                                                                                                                                                                                                             | 杉並区産業振興センター次長： 細谷 裕史<br>杉並区産業振興センター観光係長： 藤崎 浩二<br>杉並区産業振興センター観光主査： 田枝 知洋<br>杉並区産業振興センター観光係： 南木 恒平                  |
| 配布資料    | （1）資料① 令和7年度杉並区魅力発信事業業務受託者候補者選定会議委員名簿<br>（2）資料② 杉並区委託事業プロポーザル実施取扱要綱<br>（3）資料③ 杉並区魅力発信事業業務受託者候補者選定会議設置要領<br>（4）資料④ 杉並区魅力発信事業業務公募型プロポーザル実施要領（案）<br>（5）資料⑤ 審査基準（案）<br>（6）資料⑥ 第一次及び第二次審査表（案）<br>（7）参考資料 利害関係確認チェックシート |                                                                                                                    |
| 次会第議    | 1 事務局説明<br>2 会長職務代理者の指名について<br>3 実施要領（案）について<br>4 評価基準・審査方法等について<br>5 今後のスケジュール（予定）                                                                                                                               |                                                                                                                    |

会長は、設置要領第5条1項の規定により、産業振興センター所長の旨説明した。  
設置要綱第5条3項の規定により、会長の職務代理者を文化・交流課長に指名した。  
事務局から実施要領（案）、審査基準・審査方法（案）、今後のスケジュールについて、説明を行った。

○質疑応答

- ・選定会議の公表について質問があり、事務局から採点者の氏名は公表されないが、点数は公表されると説明。
- ・審査方法（案）の配点の「法人の適格性」について、配点数が低いのではないかと質問があり、事務局から中小企業にも参加してほしいため低くしていると説明。

○主な意見

- ・審査基準・審査方法（案）の審査項目について、解釈しづらい部分があるため丁寧な表現に修正してほしいとの意見があった。
- ・審査基準・審査方法（案）の配点について、配点数が高い項目があり事業者選定に偏りが出てしまう影響があるため修正してほしいとの意見があった。

各委員からの意見、質疑を踏まえて、審査基準・審査方法（案）の審査項目を丁寧な表現への修正、審査基準の配点数を修正することとし、選定委員全員の了承を得た。

次回の開催日程（予定）

令和7年6月26日（木）11時～ 産業振興センター会議室

第 二 次 選 定 会 議 記 録

|         |                                                                                                                                                                                                                            |                                                                                                              |
|---------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 会 議 名 称 |                                                                                                                                                                                                                            | 杉並区魅力発信事業業務受託者候補者選定会議（第二次審査）                                                                                 |
| 日 時     |                                                                                                                                                                                                                            | 令和7年6月26日（木）13時50分から17時10分まで                                                                                 |
| 場 所     |                                                                                                                                                                                                                            | 杉並区産業振興センター 2階 会議室                                                                                           |
| 出席者     | 委員名                                                                                                                                                                                                                        | 産業振興センター所長： 齊藤 俊朗<br>総務部広報課長： 宮崎 敬司<br>区民生活部文化・交流課長： 渡邊 淳之介<br>都市整備部都市企画担当課長： 中谷 友哉<br>都市整備部鉄道立体担当課長： 塚田 千賀子 |
|         | 事務局職員                                                                                                                                                                                                                      | 杉並区産業振興センター次長： 細谷 祐史<br>杉並区産業振興センター観光係長： 藤崎 浩二<br>杉並区産業振興センター観光主査： 田枝 知洋<br>杉並区産業振興センター観光係： 南木 恒平            |
| 配布資料    | <p>（1）資料① 第一次審査結果集計表</p> <p>（2）資料② 第二次審査の進行について</p> <p>（3）資料③ 第二次審査評価表</p> <p>（4）資料④ 審査基準</p> <p>（5）資料⑤ 第二次審査の進め方、事務局共通質問事項</p> <p>（6）参考資料 提案事業概要及び質問事項まとめ</p>                                                             |                                                                                                              |
| 次会議     | <p>1 第二次審査の進行について</p> <p>2 プレゼンテーション・ヒアリング・採点</p> <p>3 休憩</p> <p>4 審査</p> <p>5 その他</p>                                                                                                                                     |                                                                                                              |
| 冒頭      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・事務局より、本日の進め方、第一次審査の結果、第二次審査の進め方について説明を行った。</li> <li>・本日、プレゼンテーション、質疑応答を行い、第一次審査及び第二次審査の各委員の採点結果をもとに本選定委員会の受託者候補者を選定する旨、説明を行った。</li> <li>・各事業者のプレゼンテーションに対し、質疑応答、審査を行った。</li> </ul> |                                                                                                              |

## ○事務局からの共通質問

- ①企画提案書に記載のある類似業務の請負実績から、本業務に活用できると考える点は何か。
- ②ターゲットはどのような意図で設定したか。
- ③観光資源の選定理由は何か。
- ④業務の連携相手とどの様に連携していくか。
- ⑤情報発信における事業者の強みは何か。
- ⑥イベントの狙いや特徴は何か。
- ⑦情報発信やイベントにおける効果測定はどのように行うか。
- ⑧業務のスケジュールについて、現時点の懸念点はあるか。

## 1 (1) A 事業者へ事務局からの共通質問に対する回答

- ① SNS を活用し、フォトコンテストに 3000 人を集めた実績があり、本業務に活用できる。
- ② 20～30 代女性は外出意欲が高く、探索型イベントと親和性が高い。
- ③ 書店は情報との出会いの場であり、多くの世代が集う場である。
- ④ 書店に協力を依頼し、書店員のおすすめスポットを提供してもらう。
- ⑤ 情報発信における強みは、アナログとデジタル双方で発信が可能なこと。
- ⑥ イベントの狙いは本屋への送客と、ガイドブックをきっかけに複数回来街すること。
- ⑦ 効果測定は、スタンプラリーの参加者や Instagram 投稿者の属性を集計する。
- ⑧ 150 か所への取材を想定しているため、取材のスケジュールに遅れが生じる可能性がある。

## (2) 選定委員からの個別質問

### ・書店が減少している中でスタンプラリーのみで、目標参加者数 3500 人は達成可能なのか。

→書店が減っているから、人が行かないわけではない。独立行政法人中小企業整備基盤機構の調査で書店を「よく利用している/たまに利用している」と答えた人は、全体の 59% だったことから、達成の見込みはある。また SNS の力も活用して集客を行っていく。

### ・今回 SNS はどのような活用法を想定しているか。

→イベント用のハッシュタグでの投稿を促し、弊社で投稿を拾うスタイルで活用する。

### ・スタンプ台を設置する書店が JR 中央線沿いに若干偏っているが、京王井の頭線や西武新宿線沿線、東京メトロ丸ノ内線の店舗への変更は、可能なのか。

→西武新宿線周辺の書店は少ないが、区内全域の回遊性を向上させるため、臨機応変に対応する。

### ・「書店員が提案するおすすめスポット」を観光資源に設定しているが、具体的にどのようなスポットを想定しているか。またおすすめのジャンルや地域が偏った場合、どのように対応するか。

→書店員が実際に行っているランチスポットや、休憩中に立ち寄りたい公園などを想定している。また杉並区には個性的な商店が多いため、そのような商店がおすすめされることも想定している。ジャンルや地域が偏った場合は、編集部でコントロールして分散させる。

### ・スタンプラリーの告知が御社の媒体のみの実施だが、御社以外の媒体を活用した情報発信は想定しているか。またハッシュタグのある投稿を拾うだけでは、告知が受け身な印象だが投稿を促すために主体的に行うことはあるか。

弊社情報誌と Web マガジンで告知を行う。弊社以外の媒体の活用は現状想定していない。またハッシュ

タグ投稿の呼び水となる投稿は行っていく想定。

・プレゼントの費用が5万円見積もられているが、多くの人に行き届かない気がする。プレゼントは何にする想定か。

→図書カードや古書店の商品券を想定している。現状5000円相当を10名程度と想定している。プレゼントよりは、雑誌に自分の声が反映されることで満足度を高めてほしいと考えている。

・ガイドブックの発行が令和8年3月と聞いた。ガイドブックの効果検証と事業報告を3月末までに実施したいのだが、ガイドブックの発行も含めスケジュールを前倒しすることは可能か。もしくは、他の手法で効果検証を行うのか。

→ガイドブックの納品を早めることは可能。スタンプラリー開始前の取材を厚くして、開始後スムーズに取材できるようにすることで、早められると考えている。

・様々なエリアからの来街を促していきたいが、御社情報誌は多摩地域のみ配架されるのか。

→メインは立川国立だが、新宿や丸の内、中央線沿線に置いてもらうこともある。

・御社情報誌へのスタンプラリー情報掲載が、スタンプラリー開始から1か月後、終了まで2週間前のタイミングだが、前倒しすることは可能か。

→11月15日発売で決まっているため、変更はできない。その分Webマガジンで事前に告知する。弊社情報誌では企画の「ラストスパート」という立ち位置で告知を行う。

・提案書記載の杉並区の「個性的な書店」とは、具体的にどのように個性的なのか。

→旅の本のみを集めた書店や、美術書のみを集めた書店など、店主の拘りが反映された書店が多い。

・書店への取材交渉は、どのような体制で行う予定か。

→書店への交渉は、アルバイトは行かず弊社社員で担当する。

## 2（1）B事業者へ事務局からの共通質問に対する回答

- ① 三重県多気町で同様のイベントを実施し、地域資源の魅力が伝わった。リポートも1000件あった。
- ② 10代後半から40代は、サブカルチャーやアニメに関心が高い。
- ③ 杉並に多いレトロなスポットは、若い世代に人気である。また、お酒好きな声優に合わせ、居酒屋もスポットに入れる。「こどもと一緒に」を入れた理由は、声優やアニメと親和性が高いため。
- ④ 音声ガイドを聞いて来街した人だけが参加できるイベントにて、お店や団体との連携を考えている。
- ⑤ 音声ガイド『Pokke』の全国どこでも聞ける点は、強み。
- ⑥ 全国的に多くのファンを持つ人気の声優を起用予定なので、音声聞いてもらい、杉並の魅力を周知したいと思わせて来街に繋げることが狙い。
- ⑦ 音声ガイド再生数のレポートをスポットごとに提示。アンケートの属性データでどの層に杉並の魅力が伝わったか把握できるようにする。
- ⑧ 非常に人気な声優を起用したいので、多忙な中で声優のスケジュールを確保できるかが懸念される。

## （2）選定委員からの個別質問

・音声聞いて満足し、実際に足を運ばない人が多い可能性もあるが、その対策はあるか。

→スポットでできる体験やスポット自体の魅力を伝えることで、実際の来街に繋げる。また来街者限定

のイベントを組み合わせ、来街の意欲を高める。音声自体も事実の羅列ではなく、ストーリーを伝えたり、クイズ形式にしたりと工夫を促すことで、来街への意欲を高める。

・クイズ形式でスポットの背景や歴史をガイドする場合、それに伴う取材の労力が大きいと思うが、時間がタイトな中で取材しきれぬのか。

→弊社の取材力と地元の予備知識を持つライターの力を借りて、スピーディーに取材していく。

・提案の声優との連携実績や、同クラスの声優との連携実績はあるか。

→提案した声優との連携実績はない。『Pokke』を使用して同クラスの声優と 40～50 人、連携した実績がある。国内の主要声優事務所には全て声掛け可能であり、キャスティングに不安はない。

・今年 11 月に、東京で聴覚障がい者のための国際スポーツ大会「デフリンピック」が開催されるが、音声と同時に字幕を入れるなど耳が聞こえない人への対応策はあるか。

→『Pokke』は地図上でスポットの紹介をするが、テキスト化されている部分もある。その地図やテキストを見ながら、リアルイベントに参加することも可能。

・例えば声優に一部手話をしてもらい、耳が聞こえづらい人への対策とすることは可能か。

→負担は大きいが一部を手話にしながら、アフレコしてくれる声優はいると思う。

・企画後の来街促進のためにも、音声をもう少し長期間杉並区で使用することは可能か。

→定額のシステム利用料金を払うことと、声優の許可が出れば予算次第だが企画後の使用は可能。『Pokke』ではなく区のホームページで配信するには、同様に声優の許可取りが必要。

・『Pokke』はどのような仕組みになっているのか。

→『Pokke』にはアプリ版とブラウザ版があり、ブラウザ版はどこに行っても聞けるという設定と、GPS と連動して特定の場所に行かないと聞けないという設定の双方が可能になっている。

・ブラウザ版の仕組みを利用して、来街者数を把握することは可能か

→アプリ版と融合して実施する予定のため、正確な来街者数を把握することは難しい。音声ガイドの再生数から、どの程度来街したかを導くことは難しい。

### 3（１）C 事業者へ事務局からの共通質問に対する回答

- ① 杉並区で実施した企画にて、地元の声をヒアリング出来ていることは本業務に活かせる。
- ② 20 代～30 代の男女は「推し活」など実在の人物の個性に興味を持つ層である。
- ③ 個性的すぎる人を観光資源に設定した理由は、新たな客層を取り込めると考えるから。
- ④ 区内の個性的な人に、Instagram での情報発信とカード作成のための取材協力を頂く。
- ⑤ 弊社メディアにて培ったリサーチ力や人脈を活かして、情報収集や人物選定ができることが強み。また、収集した情報をキャッチーかつユニークに発信媒体に落とし込むことも可能。
- ⑥ カード集めを通じて、街の人との交流を生むことが狙い。
- ⑦ Instagram のリーチ数やデータ分析、来街者へのアンケート、ヒアリング調査で効果測定を行う。
- ⑧ スケジュールに関する懸念点は特になし。経験豊富なメンバーで対応していく予定。

### （２）選定委員からの個別質問

・Instagram アカウントを企画用に新規作成することだが、1 から作るメリットは何か。

→杉並区の個性的な人物に絞った投稿を行うため、過去の投稿に縛られることのないアカウントで1から投稿していく。フォロワー等に不安があるが、弊社媒体で適切な広告配信を行い、ユーザーの目に届くようにする。

・ 個性的すぎる人物 20 名を、どのように探すのか。

→過去の人脈や杉並区在住のライターのリサーチによって、情報を提供してもらい、スタッフが現地訪問を行って、現地で魅力を把握して発見する予定。

・ 一般人が記載されているカードラリーで、区外の人々の来街意欲を高める為にどのような工夫を行うか。

→お店や施設の魅力と合わせて発信することで、意欲を高めていこうと考える。弊社雑誌でお店の人の個性がフックとなり、魅力を伝えられたことがあったので、今回その経験を活かしていこうと考える。

・ カードのエリア区分は、グループ 4 の丸ノ内線エリアが方南町のみとなっていますが、どのような意図で分けているか。

→区外からの行きやすさで、グループ分けを行った。

・ 目標数値を Instagram のリーチ数やインプレッション数に設定しているが、来街者数も目標とする必要があると考える。目標数値はどのように考えているか。

→1 番最初に必ずもらうカードを作り、4 エリア制覇時にそのカードを持っていれば「えらすぎる人」カードがもらえる制度にすれば、参加者数を把握可能。また 4 エリア制覇賞を 500 枚作成予定だが、制覇する人を 500 人出すことが目標。

・ 提案書にはスケジュールが少し簡素に記載されているが、スケジュールの詳細を説明してほしい。

→7 月から 8 月上旬に人の選定を行い、8 月に取材を行う。カードラリーは 9 月から 12 月で行う。また 20 人の紹介動画を 9 月に揃えることは難しいため、出来上がった人から順次公開していく。

・ 見積りに記載されている、イベント実施費用の内訳を説明してほしい。

→カードの制作費用、エリア制覇賞の応募フォームの運営費や、制覇賞の発送費などが内訳となる。

・ 「えらすぎる人」カードは、仮で区長のカードを作る想定のようなのだが、難しい場合の代替案はあるか。

→費用と要相談だが、杉並にゆかりのある人物（芸能人等）を考えている。

・ カードへの顔出しを拒む人がいる場合、どのように対応するか。

→場合によっては写真ではなくイラストを載せるなど、柔軟に対応していく予定。

**【各委員の意見】**

・ A 事業者：書店にスポットをあてるという視点は面白い。一方、JR 中央線や京王井の頭線に書店が偏っている点、効果検証の時期やプレゼントに詰めの甘さが見られる点など、不安が多い印象。またスタンブラリー参加のための、動機づけが弱いという意見も出た。

・ B 事業者：東京国際ろう芸術祭やデフリンピックと時期が重なることで、耳の不自由な人に対応できるか不安はあるが、声優と実施する事業と「アニメの街」杉並区との親和性が高いと考える。また、声優の声でスポットを紹介することで、中央線沿線以外の杉並区の魅力を伝えられることが良い点だと思

う。

・C 事業者：観光資源を人に設定したのは興味深いものの、一般的な人が個性的なだけで来街の意欲を高められるか疑問視する声が上がった。また、個性的な人に依存する要素が大きく、その人の負担が大きいと感じた。またスケジュールや見積りなど、提案の細部にやや簡素な印象があるという意見もあった。

各委員からの意見を踏まえて、配点総合計の 6 割以上を取得した最上位の B 事業者を、選定委員の合意の上、受託者候補者として選定し、区へ報告した。

（※審査結果は別紙の通り。）